

学校便り



<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi10shou/>

杉十

“かがやき



10月号

令和8年9月30日

杉並区立杉並第十小学校

心を一つに、よりよい学校づくりを

副校長 高橋 順子

朝夕の暑さも和らぎ、秋の訪れを感じる季節となりました。今週はいよいよ、子どもたちが楽しみにしている運動会を迎えます。

今年は長雨の影響により、運動会練習が予定どおりに進まない日もありました。限られた練習時間の中でしたが、子どもたちは仲間と声を掛け合いながら、一生懸命取り組んできました。今年の運動会スローガンは、「一致団結して、全力で楽しもう」です。このスローガンのもと、子どもたちは互いに励まし合い、協力しながら練習を重ねてきました。徒競走では自己ベストを目指し、団体競技では力を合わせることの大切さを学び、表現運動では心を一つにして演技をつくり上げています。練習の中では思うようにいかず悔しい思いをすることもありますが、それらを乗り越えながら大きく成長していく姿に頼もしさを感じています。運動会は、勝ち負けだけを競う場ではありません。目標に向かって努力すること、仲間を応援すること、最後まであきらめずに挑戦することなど、多くの学びを得る貴重な機会です。スローガンにあるように、「一致団結して、全力で楽しもう」という気持ちを大切にしながら、子どもたち一人一人が自分らしく力を発揮し、達成感や充実感を味わえる運動会となることを願っています。

保護者の皆様、地域の皆様には、当日までの子どもたちの頑張りを温かく見守っていただきますようお願いいたします。たくさんの声援が

子どもたちの大きな力となります。子どもたちの輝く姿をぜひご覧ください。

さて、杉並区では5・6月、9・10月を「いのちの教育月間」としています。自分の命だけでなく、周りの人の命も大切にする心を育てることは、いじめの防止にもつながります。そのためには、よい人間関係を築くことが大切です。挨拶をする、話をしっかり聞く、時間を守るなど、日々の基本的な行動を積み重ねることで、相手を尊重する気持ちが育まれます。こうした思いや行動の積み重ねが、学校で過ごすすべての人が安全・安心に過ごせる環境づくりにつながります。

また、安全・安心な学校は、大人だけの力でつくことはできません。子どもたち一人一人も、その大切な担い手です。例えば、「廊下の向こうから友達が来るかもしれない」と考えて行動することや、困っている人に声を掛けたり助けたりすること、自分の気持ちを相手に分かりやすく伝えることなど、一つ一つの行動が学校全体の安全・安心につながります。

大切なのは、「どうしたらよいか」を自分で考え、判断し、行動することです。学校では、このような「自分で考え主体的に行動する力」を大切にし、互いに認め合いながら成長できる環境づくりを進めてまいります。今後も、保護者・地域の皆様の温かい見守りや声掛け、ご協力をお願いいたします。